

学会参加報告！～日本在宅薬学会編～



今回私たちは、7月19日～20日に行われた「第8回日本在宅薬学会学術大会」に参加してきました。本学会は、薬剤師の職能拡大・薬局の機能拡張を通じて、多職種連携・情報共有を基盤とした超高齢社会における新しい地域医療システムを構築し、広く社会に貢献することを目的としています。

在宅医療では多職種間での連携が必須であり、薬学会ながら医師や看護師といった多職種の方々による講演も多く見られました。日常の業務では知りえない情報を知ることができ、非常に良い刺激となりました。

第8回日本在宅薬学会学術大会

【日時】7月19日～20日

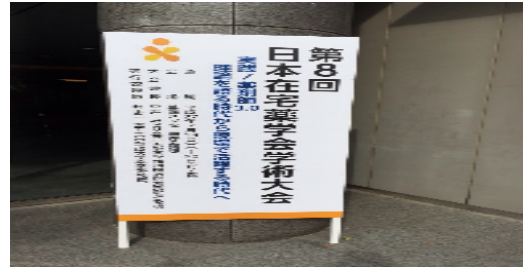
【場所】幕張メッセ

【主催】一般社団法人 日本在宅薬学会

【参加総数】1184名

【大会テーマ】

実践！薬剤師3.0 一理論を語る時代から現場で活躍する時代へー

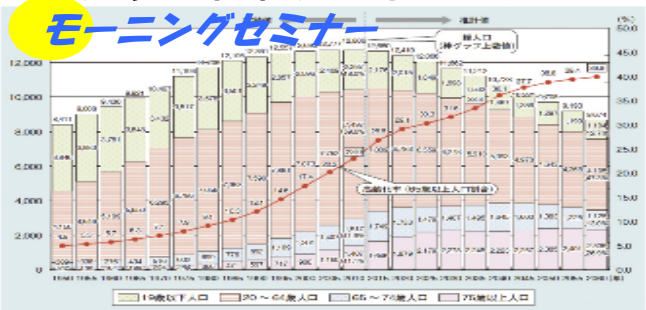


シンポジウム



薬業連携に関するシンポジウムが実施されました。薬局薬剤師、病院薬剤師だけでなく医師、訪問看護師、厚生労働省大臣官房など様々な視点から医療連携のあるべき姿を講演いただき、改めて薬局薬剤師も外に出て行く時代だと感じました。

モーニングセミナー



厚生労働省保険局の方より、2025年に向けた医療介護の連携について新しい情報も含めた講演がありました。

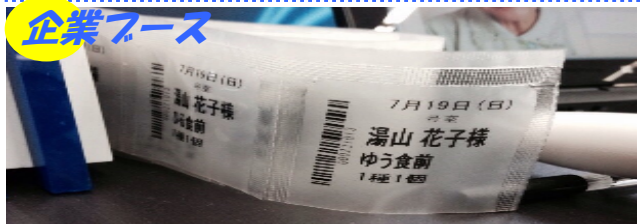
2025年には団塊の世代が後期高齢者となる上、少子化による医療の提供者の減少が進む為、今後の薬剤師には何が求められるか考えさせられる内容でした。

ポスター発表



当社から1演題のポスター発表を行いました。医師への処方提案に関して発表し、質疑応答の時間には約20名から質問がありましたが、ポリファーマシー問題に対し多くの賛同が得られました。また、他社の発表ではメディカルアシスタントさんによる業務効率改善や、多職種と薬剤師の連携の取り組みが印象的でした。

企業ブース



企業ブースでは最新の在宅医療現場で使えるツールの紹介がありました。タブレット端末による薬歴管理システムや施設内での誤薬を防ぐ為のバーコード入りの分包紙など入居者様にも価値のある設備やシステムを学びました。

参加メンバー

前田さん(石神井公園駅前店)
森井さん(墨田業平店)
高木さん(相模原東大沼店)
平井さん(北区滝野川店)
後藤さん(地域医療推進部)
谷口さん(平塚御殿店)
山崎さん(品川大井町店)
坂本さん(千葉みなと店)
本田(習志野谷津店)



今回学会に参加して“薬剤師の将来”について不安や期待など様々なことを感じました。そして、メディカルアシスタントさんが様々な場面で活躍し、調剤は機械化が進む現状に対し、薬剤師は薬剤師にしか出来ない業務に特化する必要性を感じました。

薬剤師にしか出来ない業務の中でも、多くの看護師や介護士、ケアマネジャー、そして医師から求められているポリファーマシー問題解決に対し、現状把握や解決方法を得ることができました。今後目指すべき薬剤師として、多職種に求められる薬剤師を強く意識できる学会参加となりました。